

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第3学年 「社会（東京書籍）」

49時間（70%）

週	内容	小単元名	主な学習内容	時間数	留意点	
1	(1) ア-(7)(4), イ-(7)	1 わたしたちのまち みんなのまち			※空欄は通常の年間指導計画の時間数に対応。	
		・オリエンテーション		1		
		・学校のまわり	学校の東西南北			
			くわしい地図を見てみると	1	・学校のまわりの略地図や航空地図、動画等を活用する。 ・方位や地図記号等は全単元を通して扱い、習熟を図る。	
		2時間	学校のまわりのたて物			
2	(1) ア-(7)(4), イ-(7)	1. 市の様子	空から見て	1	・市の様子がわかる地図や航空地図、動画等を活用する。 ・地図帳を必ず活用する。 ・方位や地図記号等は「学校のまわり」の学習を生かす。	
			市の地図を見て			
			学習の進め方	1		
			市の土地の高さや広がり	1		
3			市の土地の使われ方	1		
			市の交通の様子	1		
			市の公共しせつ	1		
4			市に古くからのこるたて物	1		
			市のとく色やよさをまとめよう	2		・市の様子は場所によって違いがあることについて、文章で記述させたり、白地図にまとめたことを基に説明させたりする。 ・作成した地図は、「4市のうつつりかわり」の学習においても活用する。 ・作業的な学習については、家庭等で扱うなどし、思考を深める学習活動に重点を置く。
			9時間	地図を使って考えをつたえ合う		
		2 はたらく人とわたしたちのくらし				
5	(2) ア-(7)(7), イ-(7)	・オリエンテーション（まちの人たちの仕事）		1		
		1. 農家の仕事 （※選択）	市でつくられているやさいやくだもの		1	
			特産品のあまおう		1	
6			あまおうづくりの1年間	4	・仕事の種類や産地の分布、仕事の工程等に注目して、生産の仕事に携わっている人々の仕事の様子を捉えさせる。 ・現場学習が実施できない場合は、「農家の仕事」の写真や動画等を活用する。（具体的な様子を捉える工夫）	
			あまおうの畑で見つけたよ			
7			くふうがつまったあまおうづくり			
		いよいよしゅうかく	1	・学習したことをノート等にまとめさせた後、せんでんシールをつくる作業を課題として出し、確認する。		
		7時間	せんでんシールを考える			
5※		1. 工場の仕事 （※選択）	福岡市のおみやげ		1	
			見学の計画を立てる		1	
6※	おかしができるまで		4	・仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに注目して、生産の仕事に携わっている人々の仕事の様子を捉えさせる。 ・現場学習が実施できない場合は、「工場の仕事」の写真や動画等の資料を活用する。（具体的な様子を捉える工夫）		
	おかしの原料					
7※	はたらく人のくふう					
	地いきとのかかわり	1	・学習したことをノート等にまとめさせた後、せんでんシールをつくる作業を課題として出し、確認する。			
	7時間	せんでんシールを考える				
8	(2) ア-(7)(7), イ-(7)	2. 店ではたらく人	よく行く店	1	・事前に家庭で「よく行く店」「買い物調べ」についての調査活動をさせる。 ・調査活動の内容との関連を図りながら、学習問題をつかませる。	
			買い物調べ	1		
9			スーパーマーケットのよいところ	1		
			スーパーマーケットの様子	2		・現場学習が実施できない場合は、「商店等」の写真や動画等を活用する。（具体的な様子を捉える工夫）
10			店で発見	1		
			はたらく人にインタビュー	1		
11			品物はどこから	1		（通常時数1） ※地図帳を使用して都道府県や国の名称と位置を調べる活動を必ず扱う。 ※我が国や外国には国旗があること、いずれの国でも国旗を大切にしていること、また、国旗を尊重するなどの指導をする。
			たくさんのお客さんが来るひみつ	1		
12			まちの人とともに	1		
			11時間	かべ新聞にまとめる ていあん文を書く		1

		3 暮らしを守る			
13	(3) ア-(7)(4), イ-(7)	・オリエンテーション(暮らしの安全を考えよう)		1	
		1. 火事から暮らしを守る	火事が起きたら	1	
14			火事をふせぐ	1	
		消防しょへ行こう	1	・現場学習が実施できない場合は、「消防署」の写真や動画等を活用する。(具体的な様子を捉える工夫)	
15		通信指令室とさまざまな人々のはたらき	1		
		まちの消防しせつをさがそう	1	・「緊急時に対処する体制を取っていること」に重点を置くなど、内容を精選して実施する。 ・法やきまりを扱う。	
16	(3) ア-(7)(4), イ-(7)	2. 事故や事件から暮らしを守る	5時間 地いきの消防団の取り組み	1	
			身近な地いきのあぶない場所	2	・現場学習が実施できない場合は、「警察署」や「交番・駐在所」等の写真や動画等を活用する。(具体的な様子を捉える工夫)
17		4時間	けいさつの仕事	1	・「防止に努めていること」に重点を置くなど、内容を精選して実施する。 ・法やきまりを扱う。
			事故が起きたら	1	
		1時間	安全なまちづくり	1	
			地いきでの取り組み	1	
		1時間	火事から暮らしを守る人々のはたらき	1	・「3. 暮らしを守る」のまとめについては2つの小単元をまとめて扱い、火災か事故や事件のどちらかに重点を置き実施する。
			安全を守る人の活動をまとめる	1	
		1時間	自分たちにもできること	1	(通常時数1) ※地域や自分自身の安全を守るために、自分たちにもできることを考え、選択・判断する活動を必ず扱う。
		4 市のうつりかわり			
18	(4) ア-(7)(4), イ-(7)	・オリエンテーション		1	
		1. 市の様子与人々の暮らしのうつりかわり	かわってきた明石駅	1	
19			かわってきたわたしたちの市	1	
		道路や鉄道のうつりかわり	1	(通常時数1)	
20		土地の使われ方のうつりかわり	1	※「1 市の様子」で学習したことや作成した地図等を生かす。	
		人口のうつりかわり	1		
		公共しせつのうつりかわり	1	(通常時数1) ※「1 市の様子」で学習したことや作成した地図等を生かす。 ※租税の役割に触れる。	
			道具と暮らしのうつりかわり	1	
21		市のうつりかわりをまとめてみよう	1	・学習問題について、調べ整理させたことを基に、年表にまとめさせるなど課題を出し、確認する。 ・時期の区分については、元号を用いることを必ず扱う。	
		9時間 市の発展のために	1	(通常時数1) ・まとめたことを基に、市の将来について考えさせたり、討論させたりする。	

※時間数の精選方法(例)

○授業の工夫

- ①多くの学習活動を設定するのではなく、単元の課題(学習問題)の解決や本時のめあての達成につながる学習活動を設定するなど精選を図る。
- ②既習事項を生かして、調べまとめるなど、課題を解決するための方法を工夫する。
- ③かべ新聞やキャッチコピー等でまとめる作業に時間を割くのではなく、学習問題について調べてきたことをノートやワークシート等に整理させたり、文章で記述させたりするなどの活動に重点を置くなど、単元末のまとめ方を工夫する。
- ④地図帳や写真資料等の特性に留意した読み取り方について、まとめて指導したり、資料の読み取り方のマニュアル等を作成し、学級全体で共有したりするなど、資料の読み取り方の指導を工夫する。
- ⑤学習したことを家庭での時間を活用しながらまとめさせることで時数の確保に努め、資料等を用いて説明したり、話し合ったりする活動を適切に位置付けられるようにする。
- ⑥調査・聞き取り等の現場学習(社会科見学等)は、感染症の影響の度合いに応じて柔軟に見直すなどし、学習で扱う社会的事象の写真や動画等、具体的に事象の様子を捉えられる資料を効果的に活用するなどの対応も検討する。
- ⑦「ひろげる」については、読み物資料として扱ったり、適宜、学習の中で取り上げたりする。

○家庭学習の効果的な活用

- ①次時の授業に向けて、事前に、教科書を読んだり、資料を読み取ったりさせる。
- ②本時で学んだことについて、ノートやワークシートにまとめさせたり、確認問題をさせたりする。
- ③各児童の学習のまとめや振り返りの内容を共有するために、ノートのコピーを児童たちに配布する等の工夫をする。

○本資料の扱いについて

- ①各市町村では、副読本を作成し、地域の実態に応じた内容に沿って、地域学習を進めている。そのため、本資料は各地域・学校において時間数の精選を図る参考資料としていただきたい。